

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

🍷 デイケア節分行事 🍷

精神科デイケア（きわの苑）では、節分の恒例行事として、恵方巻きを手作りして、皆で鍋を囲むということを行っています。利用者みなさんは、鍋を囲む事の経験が少なく、鍋を囲むと日頃になく会話が弾むため、数年前から続けています。今年も3週間前から、鍋に入れる具材を予算内になるように考え、どのような鍋にするのかを話し合ってきました。今年は、二種類のラーメン鍋と、魚だしの鍋の3種類を作る事にしました。

外気温は一ケタの寒い日でしたが、デイケアの中は鍋と利用者さんの熱気でムンムン。半袖姿で鍋をつつく姿も見られました。最後の締めでは、少し小さな恵方巻きとなりましたが、今年の方角を向き、各自願い事を思いながら、黙って口の中に頬張っていました。「これで、健康的な1年を過ごす事ができます」との声が聞かれていました。



手作り恵方巻き 今年の方角は南南東です



みなさんと美味しく頂きました

「気」について 🖋️

年頭挨拶で院長から今年の（目標）漢字一文字について、披露がありました。ホワイトボードを使ったスタッフ参加型のユニークなレクチャーで、ボードの中央に、「気」という文字を書いた後、スタッフ一人一人が、「気」の付く言葉を、次々に書いていくという内容でした。思った以上の言葉が出てくる中、最後に院長から「何事も一人が行うと限界があるが、今回のように皆が協力すれば、色々な答えが見つかるという言葉でまとめられました。

日頃の一般的なレクチャーに比べ、一人一人が参加できたことで、院長からのメッセージは、多くのスタッフに良く伝わったのではないかと感じました。



ホワイトボードに書かれた様々な「気」

部署紹介：外来

外来看護師は現在、外来課長(1名)看護師2名が所属しています。男性2名の多少特異な外来看護です。主な業務は外来患者さん円滑な診察が行えるよう環境調整や診察の援助。外来患者さんを含め入院患者さんの血液検査等の管理。当院の外来診療時間は午前中が中心で午後からは主に訪問看護へ行きます。地域で生活を送られている患者さんが安全で安心できる診察と訪問看護を通して社会生活のサポートを行っていきたいと思います。



私たちが外来看護師です

節分メニュー

2月3日は節分の日でした。豆まきや恵方巻きを食べた方もいらっしゃると思います。当院では、節分メニューに「いわしのおろし煮」を提供しました。患者さんが食べやすいメニューを考え、行事食を味わっていただきました。

いわしを食べる習慣があるのは西日本地域のもので、柊（ひいらぎ）の枝に、いわしの頭をさして玄関に飾る風習が由来で、硬くて触ると痛い柊の葉、いわしを焼いた時の煙とにおいて鬼を追い払うという魔よけを意味しています。鬼を追い払い、1年の無病息災を願いました。



いわしのおろし煮

どんど焼き

1月14日(月)当院では毎年の恒例行事としてどんど焼きを行いました。少し寒かったですが、天気にも恵まれ予定通り行う事が出来ました。どんど焼きはお正月に病院玄関等に使用した門松や注連縄飾り、神棚飾り、患者さんの習字や絵画等を燃やす事で、1年間の無病息災を願い毎年恒例の行事としています。

防府病院では門松や注連縄、神棚飾りの材料を職員が調達し作製していますが、注連縄飾りは作業療法プログラム等として患者さんにも作っていただきデイケアの利用者さんには家で飾って頂きました。門松をスタッフが作成している時には来院されたお客様から「良い門松ですね」といった声も掛けて頂きました。

どんど焼きと院長



編集後記



インフルエンザの流行もそろそろ最盛期を迎えそうです。ワクチンを打つだけでなく、日頃の手洗い、うがいを十分にすることで感染予防に努めることが大切です。

今年の冬は、局所的に冷え込んで、気温があがったり下がったりしています。気温の変化が激しいと体調が崩れやすいので、体調管理には十分お気を付け下さい。寒い日々が続きますがご自愛ください。

お知らせ：4月より精神保健ボランティアを再開いたします。
興味のある方は(0835-22-0759)まで連絡をお願いします。